

2024年6月10日

## 「すべり面に作用する地下水ポテンシャルに関する研究委員会」委員の公募

研究調査部長 古谷 元

標記の研究委員会の委員として活動いただける方を公募いたします。

1. **委員会名**：すべり面に作用する地下水ポテンシャルに関する研究委員会
2. **活動期間**：2024年9月～2027年3月
3. **経費**：各自で必要な分を負担することとします。
4. **委員**：公募。地すべりに関わる地下水流動に関心のある日本地すべり学会員とします。

### 5. 活動内容：

地すべり発生機構の理解と効果的な対策実施には、地すべりの誘因である地下水の挙動を正しく捉える事が必要ですが、時間的・予算面での縛りもあり、全区間ストレナ孔での地下水位観測に留まるなど、複雑な水理地質構造を有する地すべり地周辺、特にすべり面に作用する3次元的な地下水ポテンシャル（水頭）に関する実測例は少なく、解明すべき重要な課題の一つであると考えます。また、降雨などから遅れる地すべり発生タイミングの理解にも、すべり面に作用する地下水ポテンシャルの時間変化に着目することが必要だと考えます。

本委員会ではまず、地すべり地での3次元的な全水頭分布を理解すべく、多くの地すべり地で得られている調査孔掘削時の試錐日報の情報を、委員各位に収集・提供して頂き、地すべり地周辺の3次元的な地下水ポテンシャル分布の実態やそのバリエーションについて整理してみることから始めたいと考えています。それによって、例えば、すべり面より上の移動土塊中に形成される地下水ポテンシャルの変化が誘因となっていそうなケース、或いはすべり面より下方（深部）の地下水ポテンシャルの変化が効いていそうなケース、などの整理を試みます。それらの整理を進めつつ、浸透流解析によるポテンシャル分布や時間変化の再現を試みるなど、3次元的な地下水ポテンシャル分布や時間変化に関する理解を深め、今後の地すべり地における地下水に関する調査・観測方法の改善や、より効果的な対策アイデア等について議論できればと考えています。

6. **委員の公募期間**：2024年6月10日～2024年8月20日

7. **委員の定員**：概ね20名程度とする。

### 8. 問い合わせ及び連絡先：

渡辺 修（代表）

〒981-3133 仙台市泉区泉中央2丁目17-3-205 合同会社水文企画

e-mail [watanabe@suimonkikaku.co.jp](mailto:watanabe@suimonkikaku.co.jp) TEL 090-6793-6195

委員に応募される方は、①氏名、②学会員ID、③所属、④メールアドレス、⑤電話番号、⑥住所を明記し、題名を「すべり面に作用する地下水ポテンシャルに関する研究委員会公募（応募者の氏名）」として、連絡先のメールにお送り下さい。